

1. 整備計画										
計画の名称	静岡県における安全・安心な住まいづくりの推進 (静岡県地域住宅計画)									
計画の期間	平成28年度 ~ 令和3年度			交付対象	静岡県					
計画の目標	次世代に継承できる安全で良質な住宅ストックを形成する。 だれもが安心して暮らせる住まいづくりを推進する。									
計画の成果目標 (定量的指標)	ユニバーサルデザイン化した県営住宅の割合 静岡県における住宅の耐震化率を上げる									
定量的指標の定義及び算定式					定量的指標の現況値及び目標値			備考		
					当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (R 末)	最終目標値 (R2末)			
①	手摺の2箇所設置、廊下幅78cm以上の確保、段差の解消 ユニバーサルデザイン化率 = (当年度までにユニバーサルデザイン化された戸数) / (当年度末の管理戸数)				46%	-	60%			
②	住宅土地統計調査等の統計データや事業実施状況をもとに算出する。 (住宅の耐震化率) = (耐震性が確保された住宅数) / (全住宅数)				82%	-	95%			
③										
全体事業費	合計 (A+B+C)	14,936 百万円	A	14,936 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0%
事業種別	主な交付 対象事業	要素となる事業名 (事業箇所)		事業内容 (延長・面積等)		市町名		全体事業費 (百万円)	備考	
住宅		公営住宅等整備事業		県営住宅の建替等 (今沢団地等)		沼津市 他		7,705		
事業数		公営住宅等ストック総合改善事業		県営住宅の個別改善等 (福祉対応・長寿命化) (原団地他)		沼津市 他		3,749		
10		公的賃貸住宅家賃低廉化事業		家賃低廉化 (公営)		県内全域		1,813		
2. 事業の進捗状況 (○: 計画期間中に完成 △: 計画期間終了後に完成見込 -: その他 (備考欄に具体的に記入 (中止、未実施等)) (計画期間中に他の整備計画に移行したもので、●: 本計画の期間中に完成 ▲: 本計画の期間終了後に完成見込)										
計画の移行なし	○	10	△	-		備考	計画の移行あり	●	▲	
3. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況										
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況										
(指標①) 老朽化した住棟の建替えや改修により、だれもが安心して暮らせる住まいの提供に寄与した。										
(指標②) 旧耐震基準の木造住宅の耐震改修工事に対して補助金を交付することにより、住宅の耐震化が進み、災害時における住民の安全性が向上された。										
II 定量的指標の達成状況	指標① (ユニバーサルデザイン化した県営住宅の割合)	最終目標値	60.0%	目標値と実績値に差が出た要因	計画どおりに進捗している。					
		最終実績値	(R4末) 65.8%							
	指標② (静岡県における住宅の耐震化率を上げる)	最終目標値	95.0%	目標値と実績値に差が出た要因	静岡県における住宅の耐震化率は、平成30年時点で89.3%となり、着実に耐震化は進んでいるものの、高齢等を理由に耐震補強に踏み出せない方が多く残っていることが要因と考えられる。					
		最終実績値	(H30末) 89.3%							
	指標③ ( )	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因						
		最終実績値								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況										
<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅の耐震化の進捗により、住宅の倒壊による避難路等の閉塞を防ぐことができた。</li> <li>住宅の耐震化の進捗により、地震発生後も在宅避難が可能となり、避難所での密の回避、新型コロナウイルス感染症等の感染リスクの低減ができた。</li> </ul>										
4. 今後の方針等										
<ul style="list-style-type: none"> <li>県営住宅の建替や改修を進めるにあたり、長寿命化計画の見直しと執行箇所の精査により、引き続き限られた財源において事業効果の最大化に努める。(公営住宅課)</li> <li>人命を守ることを最も重視し、「安全で安心な住まい」の確保に向けて、これまでの「耐震補強」への誘導を主としながらも、巨大地震から命を守る手段として「建替え」や「耐震性のある住宅等への住み替え」も選択肢に加えた上で、耐震化に消極的な高齢者世帯に対する相談体制を強化し、きめ細やかな対応を行うことにより、総合的に耐震化を推進する。(建築安全推進課)</li> </ul>										

(1) 事業の目的

次世代に継承できる安全で良質な住宅ストックを形成するとともに、だれもが安心して暮らせる住まいづくりを推進ことを目的とする。

(2) 指標①：ユニバーサルデザイン化した県営住宅の割合

手摺の設置工事や住棟の建替えによる適切な廊下幅の確保、段差の解消を行った。

＜指標の達成状況＞

令和4年度末の最終実績値は65.8%であり、目標（60.0%）を達成した。

指標②：静岡県における住宅の耐震化率を上げる

昭和56年5月以前に建設された旧耐震基準の木造住宅の耐震改修工事を対象とした。

＜指標の達成状況＞

平成30年度末時点での最終実績は89.3%であり目標（95%）を達成できなかった。主な理由は、高齢等を理由に耐震補強に踏み出せない方が多く残る等の課題があり、住宅の耐震化は着実に進捗しているが、目標の95%到達には、もう少し期間を要する。

計画の成果目標	定量的指標		
	H28当初	R2末最終目標	最終実績
ユニバーサルデザイン化した県営住宅の割合	46%	60%	65.8%※1
静岡県における住宅の耐震化率を上げる	82%※2	95%	89.3%※3

※1 令和4年度末時点 ※2 平成25年住宅・土地統計調査より推計 ※3 平成30年住宅・土地統計調査より推計

(3) 指標に関連する実施事例

県営住宅の居住改善工事によるユニバーサルデザイン化



(4) 定量指標以外の効果発現状況

- ・住宅の耐震化の進捗により、住宅の倒壊による避難路等の閉塞を防ぐことができた。
- ・住宅の耐震化の進捗により、地震発生後も在宅避難が可能となり、避難所での密の回避、新型コロナウイルス感染症等の感染リスクの低減ができた。

(5) 今後の方針と目標達成見込み

- ・県営住宅の建替や改修を進めるにあたり、長寿命化計画の見直しと執行箇所精査により、引き続き限られた財源において事業効果の最大化に努める。(公営住宅課)
- ・人命を守ることを最も重視し、「安全で安心な住まい」の確保に向けて、これまでの「耐震補強」への誘導を主としながらも、巨大地震から命を守る手段として「建替え」や「耐震性のある住宅等への住み替え」も選択肢に加えた上で、耐震化に消極的な高齢者世帯に対する相談体制を強化し、きめ細やかな対応を行うことにより、総合的に耐震化を推進する。(建築安全推進課)

(参考図面) 社会資本整備計画 (地域住宅支援)

